

## IV 行動する

体罰を起こさないよう、学校一丸となって次のことに取り組みましょう。

### 1 生徒指導体制の在り方を点検する

- (1) 生徒指導について、全教職員の共通理解の下で組織的に取り組む。
- (2) 教育相談体制の充実を図るとともに、子どもの心に迫る生徒指導をめざし、子どもとの信頼関係の確立を図る。
- (3) 対症療法としての生徒指導だけではなく、長期的な視点に立った積極的な生徒指導に努める。

### 2 校内研修の改善、充実を図る

- (1) 教職員の人権意識を高めるとともに、服務規律を徹底し、法令を遵守する態度を養う。
- (2) 子どもが指導に従わないときの対応や問題行動の指導場面における対処法について、ロールプレイング等の実践的な研修を行うなど、研修の改善、充実を図る。
- (3) 問題行動に対する事例や全国的な動向について情報収集に努め、全教職員で共有する。

### 3 家庭・地域との連携を進める

- (1) 保護者、地域住民等との情報交換、意見交換の機会を設け、理解と協力を得るよう努める。
- (2) 学校は地域とともに子どもを育てるという認識に立ち、いつでも地域住民が学校を訪問できるよう努める。
- (3) 学校として体罰否定の明確な指導方針を継続的に説明し、周知に努める。

## 【資料】

### 本県の体罰の実態

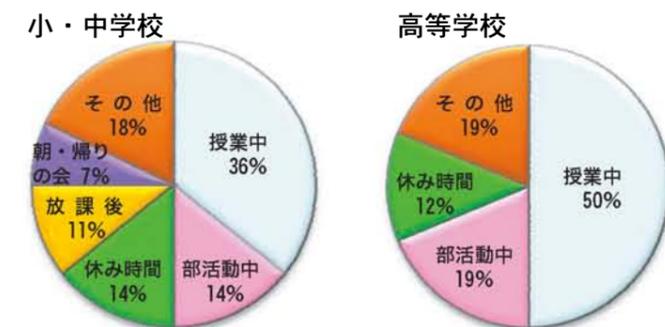
平成20年度以降、本県の公立学校教職員の体罰による処分事案は47件あり、体罰の発生場面としては、小・中・高等学校とも、授業中が一番多く、次いで部活動中となっています。

#### ① 年度別・校種別発生状況

年度	小学校	中学校	高等学校	合計
20	0	2	3	5
21	1	2	2	5
22	1	5	1	7
23	3	7	7	17
24	4	6	3	13
合計	9	22	16	47

※ 特別支援学校の処分事案はなし。

#### ② 場面別発生状況



※ その他には、清掃指導中等が含まれる。

### 体罰による子どもへの影響

- 1 心の傷として長く残り、屈辱感・自虐感をもたせるおそれがあります。
- 2 学習意欲や集中力の低下につながるおそれがあります。
- 3 周りの子どもに影響を及ぼし、子ども同士の関係に歪みを生じさせるおそれがあります。
- 4 子どものもつ教師像に歪みを生じさせ、教職員全体に対する見方や接し方に悪影響を及ぼすおそれがあります。

この印刷物は16,000部作成し、印刷経費は1部当たり8,925円です。

## 教職員用リーフレット

# 体罰のない 学校づくりのために

学校教育において、教職員が子どもに対して善悪の判断等を適切に指導することはとても重要なことです。そのため、教職員は、どんなに指導が困難な状況にあっても、使命感や責任感をもって指導を行っています。しかし、熱意を持って指導にあたった結果、冷静さを失い体罰に至ってしまうという事例も発生しています。

この機会に、教職員一人一人が日頃の教育活動を振り返り、教職員としての在り方を自ら問い直していただくとともに、子どもの人権を尊重した学校教育の在り方を再認識し、体罰根絶に向けて学校をあげて取り組んでください。



青森県教育委員会

# I 振り返る

## 1 あなたの認識と日頃の行動について、チェックしてみましょう。

次の各項目のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	体罰を行うこともやむを得ないと思う。
<input type="checkbox"/>	子どもとの信頼関係があれば、体罰は許されると思う。
<input type="checkbox"/>	子どもの言動の背景を踏まえず指導することがある。
<input type="checkbox"/>	子どもの言動についカッとなることがある。
<input type="checkbox"/>	子どもの話を聞かずに頭ごなしに叱ることがある。
<input type="checkbox"/>	子どもを怒鳴ったり威圧的な態度で指導することがある。
<input type="checkbox"/>	自分の指導方法に間違いはないと考えている。
<input type="checkbox"/>	同僚の体罰や暴力を見過ごすことがある。

➡ ○が多い場合は、体罰につながる可能性がありますので注意が必要です。

## 2 各場面での指導について振り返ってみましょう。

次の各項目のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。



### (1) 生活指導の場面

<input type="checkbox"/>	子どもとの共感を心掛けている。
<input type="checkbox"/>	カウンセリングマインドを持って話を聴いている。
<input type="checkbox"/>	学級の問題を一人で抱え込まないようにしている。
<input type="checkbox"/>	子どもと心の通い合う場面を作っている。
<input type="checkbox"/>	保護者との連絡を密にしている。
<input type="checkbox"/>	問題行動を子どもが援助を求めるサインだと受け止めている。

### (2) 学習指導の場面

<input type="checkbox"/>	自分本位の指導にならないようにしている。
<input type="checkbox"/>	同僚と協力して、指導力を高める努力をしている。
<input type="checkbox"/>	人間性を否定する言葉を遣わないようにしている。
<input type="checkbox"/>	発達段階に応じた指導の工夫を心掛けている。
<input type="checkbox"/>	授業中の私語や反抗的な態度は、授業の魅力がないことも一因だと思う。

### (3) 部活動指導の場面

<input type="checkbox"/>	自分の感情をコントロールし、冷静に指導している。
<input type="checkbox"/>	上達するまで待つというゆとりをもって指導している。
<input type="checkbox"/>	指導してやっているという態度をとっていない。
<input type="checkbox"/>	子どもの個性を見極めて指導している。
<input type="checkbox"/>	勝利至上主義にならないよう留意している。

➡ ○が少ない場合は、体罰につながる可能性がありますので注意が必要です。

教職員の指導について考えてみましょう。

# II 考える

## 1 教職員の指導を子どもがどう受け止めるのか考えてみましょう。

子どもが何か問題行動を起こしたとき、教職員は、その行動を正そうと指導します。子どもが二度と同じ過ちを犯さないように、ときには強い調子で叱ることもあるでしょう。しかし、行き過ぎた指導の場合、子どもの受け止め方はどうでしょうか。

指導・働きかけ	子どもの受け止め方	結果
思いを一方向的に熱く語る	決めつけられた 認めてくれない 話を聞いてくれない	子どもが意欲を失い、無気力になる
強い口調で話し続ける	暴力的な言葉 いやみな言葉 ひどい言葉	子どもが自信をなくし、現実逃避する
子どもの身体に触ったり、押したりする	叩かれた 蹴られた 突き飛ばされた	子どもが教職員に対して反感をもつ

## 2 教職員の指導・働きかけによる子どもへの影響について考えてみましょう。



教職員として心掛けるべきことを確認しましょう。

# III 理解する

## 1 子どもの理解を深めるため、次のことに心掛けましょう。

### (1) 自己のコントロール

- セルフコントロールし、感情を爆発させない。
- 時間的・精神的なゆとりを持つ。

### (2) 効果的な指導

- 受容的態度、共感的理解に努める。
- 心に響く叱り方をする。



### (3) 組織的な対応

- 指導が困難な子どもに対して、全ての教職員が共通理解の下で、毅然と、粘り強く指導する。
- 保護者や地域との信頼関係はもちろんのこと、カウンセラー、関係機関との連携を深める。

## 2 指導の場面では、次のことに心掛けましょう。

### (1) 子どもとの信頼関係

- 長期的な展望に立ち、子どもの話をじっくり聞き、根気よく指導する。
- 問題行動などの結果だけを見て判断せず、原因と背景を受け止める。
- 学級担任だけでなく、教科担当教員、養護教諭、カウンセラーなど多くの人が関わり、多面的に子どもの理解を図る。

### (2) 一人一人の子どもが生き生きする指導

- 子どもが楽しく学ぶための授業づくりに努め、成就感を味わえるように学習活動を支援する。
- 子どもが互いに認め合い共感的人間関係をつくれるよう支援する。
- 子どもの自己決定の場を設定する。

### (3) 体罰否定の意識

- 体罰は子どもの人権を損ない、信頼関係を根底から崩すものだという意識を認識する。
- 「体罰は愛の鞭」や「多少の体罰は許される」という考えは誤っている。

学校として取り組むべきことを確認しましょう。